

## 平成 26 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅢ講座 教授
氏名 Name	山根聡
専門分野 Academic Field	南アジア・イスラーム論、ウルドゥー文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	南アジアのムスリムの動態に関する研究
<p>本年度は、自身が代表となっている科学研究費プロジェクト「9.11 後のパキスタンにおける権力構造の変化に関する複合的研究」が最終年度であることから、最終成果の一環として、2014 年 6 月 20 日に中東情勢調査会で研究発表を行い、『現代インド研究』第 5 号に学术论文「パキスタンの民主政権を支えるのは軍か、イスラームか、メディアか？」を提出、査読で受理され、2015 年 3 月に刊行された。さらに、アジア政経学会の学術誌『アジア研究』（査読あり）にも学术论文を提出した。査読は既に終わって受理され、現在校正を行っている。また、現代インド研究プロジェクトの成果として、「宗教マイノリティの権利保護」を『現代インド 3』（東京大学出版会）から刊行した。</p> <p>研究分担者として参加している科研費プロジェクトの研究の一環として、南アジアのイスラームの諸相、特にイスラーム復興思想の翻訳に関する調査や、その資料収集のため、イギリスへ出張した。その成果は、2014 年 10 月 18 日に京都大学で開催された人間文化研究機構のシンポジウムにおいて「現代イスラーム思想の拡散とマウドゥーディー著作の翻訳」として報告を行った。</p> <p>自身が研究分担者となっている科研費プロジェクトの成果発表として、2014 年 12 月にインドで開催された国際セミナーで研究発表を行い、同時期にデリーで開催された国際シンポジウムにも参加した。2015 年 3 月には九州大学での境界研究プロジェクトの国際シンポジウムにおいて英語での報告を行った。成果刊行としては、新学術領域研究で続けてきた研究成果を編者として刊行させるべく、編集作業を進めた。</p> <p>このほかの研究成果としては、10 月 3 日に「南アジアとイスラーム」シンポジウムで「英領インドにおける諸宗教運動の再編ーコロニアリズムと近代化の諸相」と題した報告を行い、2015 年 1 月 31 日には早稲田大学での『メガシティとしてのイスラーム都市ージャカルタとカイロを中心に』2014 年度第 2 回研究会において「南アジアのメガシティ カラチ」を報告した。また、3 月 2 日には上智大学で開催された「アジアのムスリムとパレスチナ問題：1930 年代を中心に」において、「ウルドゥー詩にみられるパレスチナ問題」と題する報告を行った。</p> <p>総じて、年度初めに設定した研究計画に基づいた研究活動を行い、その成果もあげることができた。</p>	